

2017(平成29)年3月期 第3四半期決算補足資料

(2016年4月1日～2016年12月31日)

1. 2017.3期 第3四半期実績

(百万円)

	'17.3期3Q 実績	'16.3期3Q 実績	前年同期比	
			増減	増減率
売上高	22,128	23,437	-1,308	-5.6%
営業利益	881	2,743	-1,861	-67.9%
経常利益	2,016	4,006	-1,989	-49.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,481	3,017	-1,535	-50.9%
研究開発費	5,766	5,634	+132	+2.4%
研究開発費率	26.1%	24.0%	+2.1pt	-
営業利益率	4.0%	11.7%	-7.7pt	-
1株当たり四半期純利益(円)	26.14	53.11	-26.97	-
期中平均レート(US\$/円)	106.68	121.70	-15.02	-

<実績と前年同期実績との増減要因>

売上高: 米国ジェル・ワンや海外でのLAL事業の販売数量が増加した一方で、円高や国内における薬価引き下げの影響を受け、減収。なお、売上高全体への円高影響は約-1,060百万円。

・国内アルツは、市場全体がほぼ横ばいで推移するなか、新容器投入に伴う販売提携先の販促活動により医療機関納入本数が微増(前年同期比: 市場+0.5%、アルツ+2.6%)。当社売上は、薬価引き下げの影響を受け減少。

・オペガン類は、7月に発売したシェルガンが好調なことから、医療機関納入本数が増加(前年同期比: 市場+2.7%、オペガン類+7.9%)。当社売上は、薬価引き下げの影響を数量増でカバーし、増加。

・米国ジェル・ワンは、現地販売が堅調に推移(前年同期比: +3割弱)し、当社売上も円高の影響を数量増でカバーし、増加。

・米国スパルツFXは、競合環境が引き続き厳しく、現地販売は微減。当社売上も円高影響で減少。

営業利益: 薬価引き下げや円高影響に加えて、アルツ新容器投入に伴う一過性要因により原価率が上昇。

(-1,861) 米国における腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603のオープン試験進展に伴う研究開発費の増加などにより、減益。なお、減価償却費は2,186百万円(前年同期比: -193百万円)。

四半期純利益: 受取ロイヤリティーが増加した一方で、投資有価証券売却益の減少などがあり、減益。

(-1,535)

2. 2017.3期 第3四半期事業セグメント別売上高

(百万円)

	'17.3期3Q 実績	'16.3期3Q 実績	前年同期比		(参考)	
			増減	増減率	'17.3期予想	'16.3期実績
【医薬品事業】	18,020	19,306	-1,286	-6.7%	24,500	25,518
国内医薬品	12,305	13,017	-711	-5.5%	16,250	16,928
海外医薬品	4,928	5,339	-411	-7.7%	7,100	7,300
医薬品原体	786	950	-163	-17.2%	1,150	1,289
【LAL事業】	4,108	4,130	-22	-0.5%	5,150	5,444
合計	22,128	23,437	-1,308	-5.6%	29,650	30,962
(海外売上高)	8,118	8,587	-468	-5.5%	11,000	11,581

3. 通期業績予想と進捗率

(2016年11月8日に公表しました予想に変更はありません)

(百万円)

	'17.3期 予想	'16.3期 実績	前期比		'17.3期3Q 実績	進捗率
			増減	増減率		
売上高	29,650	30,962	-1,312	-4.2%	22,128	74.6%
営業利益	1,250	2,144	-894	-41.7%	881	70.5%
経常利益	2,650	3,500	-850	-24.3%	2,016	76.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	2,000	2,578	-578	-22.4%	1,481	74.1%
研究開発費	7,850	8,649	-799	-9.2%	5,766	73.5%
研究開発費率	26.5%	27.9%	-1.4pt	-	26.1%	-
営業利益率	4.2%	6.9%	-2.7pt	-	4.0%	-
1株当たり当期純利益(円)	35.30	45.39	-10.09	-	26.14	-
期中平均レート(US\$/円)	※ 103.00	120.14	-17.14	-	106.68	-

※下期前提

以上